

幼年童話概論

佐々木 由美子

1. 声の文化と文字の文化
 - (1) 声の文化の衰退
 - (2) あわいとしての幼い子の文学
 - (3) 語ることから生まれたもの

2. 幼い子の文学の独自性
 - (1) 幼い子どもの発想と思考
 - ①自己中心性とアニミズム
 - ②直感的思考
 - ③楽天的世界観
 - (2) 物語の受容—大人の読み・子どもの読み

3. 幼年童話の誕生と変遷
 - (1) お伽話期の幼児向け作品
 - (2) 芸術性と幼年童話
 - (3) はっきりと面白くわかりやすいこと
 - (4) 子どもたちの好きなものとシリーズ
 - (5) ひろがる幼年童話

4. 幼い子どもたちとともに
 - (1) 作品のなかで遊ぶことの価値
 - (2) 世界の豊かさ・あたたかさ
 - (3) これ、わたしのお話

5. おわりに